

《課題名》ヒト心室筋から採取した atypically-shaped cardiomyocytes (ACMs) に発現する細胞特異的タンパク質の検討

《研究対象者》2015年以降に滋賀医科大学附属病院において亡くなられた患者様（心疾患や感染症でお亡くなりになられた方は除かせていただきます）で、『剖検の検体を学術研究、医学研究に使わせて頂く事についての説明・同意』でご承諾いただいたご遺族の方

#### 研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医大で既に保有している臨床情報（及び生体試料）を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意はいただかずに、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への参加（試料・情報提供）を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

#### （1）研究の概要について

研究課題名：ヒト心室筋から採取した atypically-shaped cardiomyocytes (ACMs) に発現する細胞特異的タンパク質の検討

研究期間： 2015年6月23日～2020年8月23日

研究機関・実施責任者： 滋賀医科大学 《所属》生理学講座細胞機能生理学部門 《氏名》尾松万里子

#### （2）研究の意義、目的について

《研究の意義、目的》本研究では、ヒト心室筋組織内に存在する prion protein/cardiac troponin T (PrP/cTnT) 陽性細胞が培養条件下で、生理的意義のあるタンパク質が発現するかを確認することを目的としています。すでにマウスでの実験では確認されていることから人でも同様か否かを今回確かめます。Atypically-shaped cardiomyocytes (ACMs) の細胞機能および心筋線維芽細胞との相互関係を明らかにすることにより、心臓内に存在する細胞を用いた心筋再生の基礎研究に貢献できる意義がある研究です。

#### （3）研究の方法について

##### 《研究の方法》

ヒト心室筋組織内に存在する PrP/cTnT 陽性細胞が培養条件下で生き延び生理的意義のあるタンパク質の発現を有するかを共焦点走査型顕微鏡あるいは高精細顕微鏡にて観察します。また、同時に得られた線維芽細胞の継代観察も行い、細胞遊走機能も観察して記録します。さらに細胞内カルシウム濃度変化についても観察記録します。

《多施設共同研究等、他の研究機関へ試料・情報等を提供する場合に追記する事項》該当しない

#### （4）個人情報の取扱いについて

##### 《個人情報の取扱いに関する記載》

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

《他の研究期間への提供する場合》提供しない

**(5) 研究成果の公表について**

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

**(6) 研究計画書等の入手又は閲覧**

本研究の対象となる方は、希望される場合には、他の研究者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

**(7) 利用又は提供の停止**

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用（又は他の研究への提供を）停止することができます。停止を求められる場合には、(2020年6月23日までに) 下記(8)にご連絡ください。

**(8) 問い合わせ等の連絡先**

滋賀医科大学 《窓口所属》 《対応者氏名》 生理学講座細胞機能生理学部門 尾松万里子

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号： 077-548-2153 《窓口番号》

メールアドレス： 《窓口メールアドレス》 m\_omatsu@belle.shiga-med.ac.jp